

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年7月28日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>BAMBOO COMICS REIJIN uno!</p> <p>フェイクゴシップ</p> <p>令和3年7月21日発行</p>	<p>完成度の高いBL漫画。1本目は最終的には相思相愛だが、導入部分のスタンガンの使用から拘束し、脅かし、無理矢理し、撮影。着地点だけ見れば、強制的な性行為が肯定的にも見えてしまう可能性も否定できない。2本目はストーカー行為が若干気になる。男性器の消しの甘さと登場回数が青年レベルを超えている。指定やむなし。</p> <p>スタンガンから拘束、録画、脅迫、器具使用、結果的に気持ち良かったら許されるというあってはならない誤解を生む。特に冒頭の性器の消しが甘く形が分かる箇所がある。局部を強調している部分が多い。後半はストッキングを容認するといった誤解を与える表現がある。画力はあるが、指定該当。</p> <p>画力、表現力がとても高いがゆえに描写も迫りに満ちている。自宅に騙し入れ監禁、拘束、器具使用、デジタル録画による恐喝、修整の甘い性器による強姦描写。以上のことから指定該当やむなし。</p> <p>前半はスタンガンで相手の自由を奪い、拘束した上で性行為に及び、その様子を録画するという人格否定、不法行為の描写が続く。道具の使用が頻発することもあり、一線を越えている。一方、後半は性描写は抑え気味で、両想いに至る二人の心の動きに多くのページが割かれている。人格否定的な描写はなく、擬音や体液描写も少ない。後半だけなら指定非該当だが、前半の表現があまりに厳しく、「全編大部分」とは言えないが、指定該当やむなし。</p> <p>画力も構成力もある作家のため、前半は、倒錯した物語を最後まで読ませてしまう。しかし、拘束具、器具、脅迫を前提にした強制的な性交場面を執拗に展開することには抵抗感がある。性器の修整も器具を用いることで形状を思い描かせており、体液も多い。後半は、前半と比べ、性器や性交場面に配慮がなされており、物語もバランスが良い。総合的に判断して成人向き。指定該当。</p> <p>絵は非常に上手で、細部にわたり描写している。スタンガンで気を失わせ、全裸で器具を使っての拘束、強制的、暴力的な行為。擬音、体液描写も激しい。人格否定そのものである。短いストーリーの中で、脅し騙したつもりが騙されるという漫画の面白さもあるが、指定該当。</p> <p>前半は、器具を使って拘束する所から始まっている。性器は消してあるものの器具によって、逆に分かりやすくなっている個所もある。体液の描写が多く、擬音も多い。二人の関係性は、一方的でないにしろ、表現としては一線を越えている。後半はストーリーとしては単純だが表現方法は前半と同じ。よって指定該当。</p> <p>前半は、拘束と脅しとサド・マゾ関係がダブっていて、人格否定的要素あり、器具の使用あり。また体液描写・大胆な構図、擬音も多い。後半は、一方的な恋愛感情に基づいたストーリー展開で、人格否定的要素はないが、相手がストーカーであることに気づき、本人の新しい自覚へとつながる。このストーリー展開と性的交渉の関係がよく分からない。総合的に判断し、指定該当。</p> <p>擬音、体液描写など、一部卑わいな部分もあり、性器の修整も甘いように感じる。前半では器具を使用する場面も多く、成人向け。指定該当。</p> <p>理由はともあれ、いきなり道具の使用や手足を縛るといった人格否定はいかがかと思う。最後はお互い好き同士という恋愛話となっているので問題はない。保留。</p> <p>強姦を加えその一部始終を撮影、それをネタに相手を脅迫するシーンが見られる。擬音、体液描写はやや多めな印象。肛門や男性器については修整が加えられているが、男性器は、上から白い線を加える手法を用いているため、一部に形状が分かる箇所がある。ストーリー展開や絵のタッチのせいか条例施行規則という卑わいさは感じられない。保留。</p> <p>性器は修整がほどこしてあり、前半はおもちゃを使用しているが、コミカルであり卑わい感を感じない。後半はそれほどひどくなく、この程度であれば許容範囲。指定非該当。</p> <p>冒頭から人格否定ととれるシーンで始まるが、そこから物語が展開しており、それ自体は否定できない。過程で描かれる性交シーンの構図や描かれ方は、読者に暴力的で卑わいさを印象づける箇所がある。修整は形状がやや分かりやすい所も一部あり、体液描写も多いが、配慮は見られる。判断に迷うが、指定非該当。</p>